奈良県いじめモニタリングシステム『NIMS(ニムス)』(案)



『NIMS』とは

いじめの発見・対応が遅れ重大事態化しないように、

- 日常の児童生徒の様子を観察することでいじめの『兆候』を積極的に認知
- ・事象対応の検証のために、継続的記録を見える化

し、入力情報を共有するシステムです。また、システムを活用することで、先生方の抱え込みをなくすとともに、チームとして対応・支援できるようにするものです。

『NIMS』活用による効果

- 情報共有による同僚性と学校全体の『気づく力』の向上
- いじめの『兆候』を含めた積極的認知の推進
- チームによる対応・支援

報告・連絡・相談

確実な記録の蓄積

先生の抱え込みゼロ

いじめ見逃しゼロ

いじめの重大事態ゼロ

学校による入力・閲覧

水準チェック

- 17項目(※下図)で子ともたちの様子を チェックし、4つの段階の『水準』に分類。
- 〇毎日入力。

事案経過記録

- 〇 随時入力。
- ○事象の記録が入力時系列で蓄積。
- いじめ等の事象のみでなく、 『気になる子』の観察記録としても活用可。

管理職

担任等教員

情報の共有

市町村 教育委員会

※いじめの『兆候』I7項目(いじめ認知·対応フローチャートより)

【水準1】

いじめかもしれないが、その他の理由かも知れない

下校時刻が近づくと、 表情がさえなくなる 授業中にぼうっとすることがある

休み時間に自学級以 外の児童と過ごすこと 昼食を食べ残すことが 増えた 周囲の人の言動に過 敏に反応する

が多い

【水準2】

いじめの可能性が大きい

登下校時、他の子の持ち物を持たされていることがある

持ち物や衣服 が不自然に汚 れていることが ある 授業中におど おどした態度 をとることがあ 自分を卑下す る(自虐的な) 言動が見られ 休み時間に 人で過ごすこ とが多い

教科書等が破 れている 登校を渋るこ とがある

【水準3】

いじめ重大事態の可能性が大きい

授業中の発言を周囲に冷やかされる

休み時間に職員室や 保健室にいることが多 靴や持ち物がなくなる ことがある 顔や身体にあざがあ る 持ち物等に落書きをされたり、壊されたりする ことがある